



輛の浦学園だより

いのち、輝く！
No Child Left Behind
No.10
2021年（令和3年）9月3日

感染予防を徹底し、「学びの進化」に挑戦し続ける！

～まわりの大人は、信頼し、任せて、支え続ける！～

不安な気持ちが漂う中、2学期が始まりました。

現在、広島県に緊急事態宣言が出されています。

感染力の強いデルタ株が猛威を振るう中、人と人との接触を減らし、感染を抑え込めるかが問われています。学校でも、登校すること・させることへの不安を少しでも取り除き、クラスターの発生を防ぐため、できることをしっかりと考え準備をしてきました。

- ときどきしました。でも、なんだかたのしくなって、さいごはあんしんしました。
- 「ひさしぶりの学校だったけど、たのしかったです。あしたも、たのしく学校に行って、たのしくべんきょうしたいです。」
- 「今日は久しぶりに先生やみんなと会える楽しみな一方、少し緊張もしていましたが、一日楽しく過ごせたことを笑顔で話してくれました・・・」
- 「2学期の始まり・・・自由の少ない中でも『学校が楽しかった』と帰ってきました。」

ところで、これまで「当たり前」に行ってきた教育活動が制限される中、様々にチャレンジしながら学びを止めない取組を行ってきました。例えば、保護者の方の中にもリモートでお仕事をされている方もおられると思いますが、子ども達も、オンラインで学ぶことが当たり前の時代になるでしょう。



4月に配布したタブレット端末が、学びの幅を大きく広げています。端末でトマトの成長する姿を写真にとって記録したり、「輛学」を紹介するビデオを作成したり、他校の児童とミーティング機能を活用して交流したり、教材「キュービナ」を使って教科学習を自分のペースで取り組んだり・・・成長の姿は素晴らしい。端末は、家庭でも学校でも自由に使えます。

コロナ禍だからこそ、感染予防を徹底し「学びの進化」に挑戦し続ける絶好の機会です。それは、不透明なこれからの時代を生き抜く原動力につながります。何事も自分で考え、判断し、行動して、その結果に責任を持つ。まわりの大人は、信頼し、任せて、支え続ける。その積み重ねが自立の近道であり、どんな困難に出会っても、柔軟にしながら、たくましく生きていくことにつながると考えています。

学校の安心・安全は自分達の手でつくる

2学期が始まりました。緊急事態宣言の下、朝の登校時から緊張感を持ったスタートとなりました。オンライン授業を組み合わせた分散登校、1.5m間隔の保持など、これまで以上に感染症対策に注意を払わなければいけません。生活リズムがうまく整わないなど、不安や心配なことがありましたら、いつでもご連絡ください。悩みは抱え込まず、みんなで知恵を出し合って乗り越えていきましょう。



2学期の始業式は各クラスで行われました。校長先生はあいさつで「コロナを決してあまく見てはいけない」と伝え、その話に真剣に耳を傾ける児童生徒の姿勢を評価されました。そして、「人は失敗しながら成長するものです。『自分なんてどうせ』と思わず、新しいことに挑戦し続けてほしい」と話されました。



登校時に、玄関前で健康観察と検温を行っています。健康観察カードへの記入のご協力、ありがとうございます。

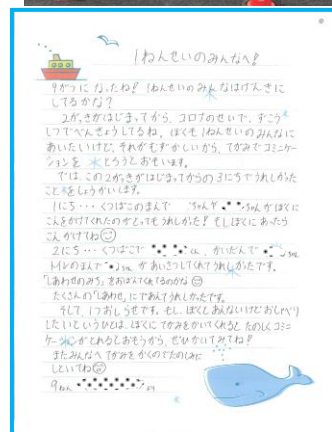


1時間目は全ての学級で、今後の生活における約束をみんなで確認しました。ミーティングで伝わるよう工夫しています。

心をつなぐコミュニケーション！

1年生の教室では、担任から一枚の手紙が紹介されました。差出人は、教室や廊下でよく声をかけてくれる優しい9年生の先輩です！

コロナ対策で他の教室に行くことが難しくなったので、代わりに手紙を書いて届けてくれたのです。2学期が始まって3日たちましたが、玄関やトイレの前であいさつしてくれたことなど、たくさんの「しあわせ」に出会えて嬉しかったことを書きしるしていました。コロナ禍の中であってもできることを見つけて工夫を重ねていく。児童生徒の発想力の土台には「優しさと思いやり」がつまっています。今後のやりとりが楽しみです。



【職員の異動のお知らせ】

介助員の岡野裕江の出産休暇に伴い、
9月1日より介助員として河野百合子が
赴任しました。よろしくお願いします。

【資源回収について】

新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、10月2日に予定していた資源回収を1月以降に延期します。ご了承ください。